

<p>[科目名]</p> <p>地域みらい特殊講義 I</p>	<p>[単位数]</p> <p>2 単位</p>	
<p>[担当者]</p> <p>佐藤 三三 Satou Sanzo</p>	<p>[オフィス・アワー]</p> <p>時間 :最初の講義で伝える 場所 :502 研究室</p>	
<p>[科目の概要] テーマ:生涯学習論—生き方・働き方・社会の在り方の学習・教育論—。</p> <p>「生涯学習論」は、単なる教育・学習論ではない。人間とは何かという問いかけと不可分な人間論であり、それに基づく人間の生き方論であり、生き方と不可分な働き方論であり、そうした生き方と働き方を可能にする社会の在り方論でもある。</p> <p>「生涯学習論」が世界教育史上に登場してから既に 50 年余が過ぎた。しかし、「人生 100 年時代の到来」は、50 年前とは異なった生き方・働き方・社会の在り方を求め始め、「生涯学習論」が改めて脚光を浴びてきている。</p> <p>本講義は、産業・企業と生涯学習論の関係にも言及しながら、生き方・働き方・社会の在り方の学習・教育論としての「生涯学習論」について、体系的に講義する</p>		
<p>[「授業科目群」・他の科目との関連付け]・[なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「経済」「経営」と「教育」の関係について認識することができる。 ・ 自己の生き方・働き方・社会の在り方について再考するきっかけになる。 ・ 自己自身の生涯学習に役立つ。 		
<p>[科目の到達目標(最終目標・中間目標)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生涯学習論について理解し、生涯学習を実践する意欲を持つことができる ・ 「経済」「経営」と「教育」の根源的關係について認識することができる。 ・ 自己の生き方・働き方・社会の在り方について再考するきっかけになる。 		
<p>[学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫]</p> <p>板書を丁寧にする。</p>		
<p>[教科書] 使用しない</p>		
<p>[指定図書] なし</p>		
<p>[参考書] 講義の中で随時紹介する</p>		
<p>[前提科目] なし</p>		
<p>[学修の課題、評価の方法](テスト、レポート等)</p> <p>レポート及び出席状況。</p> <p>欠席が全講義回数の三分の一(5回以上)を超える場合は単位認定の対象外とする</p>		
<p>[評価の基準及びスケール]</p> <p>A : 80 点以上 B : 70~79 点 C : 60~69 点 D : 50~59 点 E : 50 点未満</p>		

〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕

本講義が、学生の皆さんにとって、経済と教育の関係や自己の生き方・働き方・社会の在り方について再考するきっかけになると同時に、自分自身の生涯学習の実践に結びつくように精一杯努力して講義する。ぜひ受講していただきたい

授業スケジュール

第1回	<p>テーマ(何を学ぶか):ガイダンス</p> <p>内容:講義の全体概要と生涯学習論の前史</p>
第2回	<p>テーマ(何を学ぶか):生涯学習論の登場</p> <p>内容:ユネスコ(UNESCO)と「生涯教育論」</p>
第3回	<p>テーマ(何を学ぶか):生涯学習論の登場</p> <p>内容:ユネスコ(UNESCO)と「生涯教育論」</p>
第4回	<p>テーマ(何を学ぶか):日本の生涯学習論</p> <p>内容:なぜ、生涯学習は必要か—社会の加速度的変化</p>
第5回	<p>テーマ(何を学ぶか):日本の生涯学習論</p> <p>内容:なぜ、生涯学習は必要か—社会の加速度的変化</p>
第6回	<p>テーマ(何を学ぶか):日本の生涯学習論</p> <p>内容:人間の学習可能性、学習の目的、自己教育力</p>
第7回	<p>テーマ(何を学ぶか):日本の生涯学習論</p> <p>内容:生き方・働き方・社会の在り方論、</p>
第8回	<p>テーマ(何を学ぶか):生涯学習論と日本の教育制度改革</p> <p>内容:小学校・中学校・高等学校の改革、大学改革</p>
第9回	<p>テーマ(何を学ぶか):生涯学習論と日本の教育制度改革</p> <p>内容:リカレント教育と大学改革、</p>
第10回	<p>テーマ(何を学ぶか):生涯学習論と日本の教育制度改革</p> <p>内容:社会教育の振興</p>
第11回	<p>テーマ(何を学ぶか):生涯学習論と日本の教育制度改革</p> <p>内容:社会教育の振興</p>
第12回	<p>テーマ(何を学ぶか):企業と生涯学習(キャリア教育)</p> <p>内容:日本経済団体連合会</p>
第13回	<p>テーマ(何を学ぶか):企業と生涯学習(キャリア教育)</p> <p>内容:厚生労働省</p>
第14回	<p>テーマ(何を学ぶか):人生100年時代の生涯学習論</p> <p>内容:リンダ・グラットン、アンドリュウ・スコット著、池村訳『ライフシフト—100年時代の人生戦略』</p>
第15回	<p>テーマ(何を学ぶか):人生100年時代の生涯学習論</p> <p>内容:リンダ・グラットン、アンドリュウ・スコット著、池村訳『ライフシフト—100年時代の人生戦略』</p>
試験	レポート